

各地の話題 丸森町



2020年11月27日号掲載

将来の地域農業を守るために

丸森町は少子高齢化が進み、高齢化率は40.3%と県内でも2番目に高くなっている。

町の中央に位置する竹谷地区でも担い手の高齢化や後継者不足が進む中、令和元年東日本台風で甚大な被害を受け、約60haが耕作不能となっており、今後の地域農業の衰退が懸念されている。



竹谷地区はこの現状を改善しつつ、これからの地域農業の振興を図るため、2019年6月に竹谷地区基盤整備推進委員会を設立した。この委員会は地域農業者が役員を務めており、行政機関とともに竹谷地区での持続可能な農業について協議を重ねている。現在は、特に農地中間管理機構関連農地整備事業の実施へ向け、農地整備構想の作成と未相続問題

の解決に力を入れている。農業を次の世代へ継続し、将来にわたって農地を有効利用していく方針で進めている。

委員長の海川正則さん（73）は「若い人材が、農業ができる環境を作ることが我々先人の役目だ。一人一人の力を借りながら、地域農業を継続するために、ともに地域づくりに歩んでいきたい」と今後の意気込みを語る。

【記事提供：丸森町農業委員会】